

衛研第3-7号
平成28年 5月18日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成28年第19週（平成28年5月9日～平成28年5月15日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類から二類感染症（結核を除く）の届出はなかった。三類感染症は、腸管出血性大腸菌感染症1人の届出があった。四類感染症は、E型肝炎1人、レジオネラ症1人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢2人、急性脳炎1人、後天性免疫不全症候群1人、侵襲性肺炎球菌感染症4人、梅毒1人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**流行性耳下腺炎**（0.94→1.30：図1）の定点当たり報告数は、前週より大きく増加し、前年の最大値を上回った。保健所別では、秩父、本庄保健所を除く14保健所管内から報告があり、幸手（3.56→5.67）保健所管内で大きく増加し、坂戸（2.67）保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**（0.33→0.61：図2）の定点当たり報告数は、前週と比べ大きく増加し、今後の動向に注意が必要である。保健所別では、越谷市（1.25）、狭山（1.24）、幸手（1.22）保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、1歳の報告が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（2.22→3.09：図3）の定点当たり報告数は、連休前となる前々週（2.95）と比較し同水準となった。保健所別では、全保健所管内から報告があり、川越市（6.75）、越谷市（4.88）保健所管内で多い。年齢階級別では、3～8歳で全体の74.4%を占め、特に5歳及び6歳の報告が多い。**水痘**（0.51→0.70）の定点当たり報告数は、前週に比べ僅かに増加した。保健所別では、春日部（2.60）、朝霞（1.21）保健所管内からの報告が多い。眼科定点報告対象疾患では、**急性出血性結膜炎**2人、**流行性角結膜炎**37人の報告があり、後者は前週（11人）より大きく増加した。基幹定点報告対象疾患では、**マイコプラズマ肺炎**3人、**感染性胃腸炎（ロタウイルス）**5人、**インフルエンザ（入院）**1人の報告があった。

<全数把握対象疾患の患者情報>

一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1人（類型 患者、血清型 0157）
四類感染症	E型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	2人（病型 腸管アメーバ症 1人、 腸管外アメーバ症 1人）
	急性脳炎	1人（病原体 不明）
	後天性免疫不全症候群	1人（病型 AIDS）
	侵襲性肺炎球菌感染症	4人
	梅毒	1人（病型 早期顕症 I 期）

1 この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
 衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
 e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>

2 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)で御覧になれます。

< 今週の注目される定点把握対象疾患の推移 >

図 1 流行性耳下腺炎

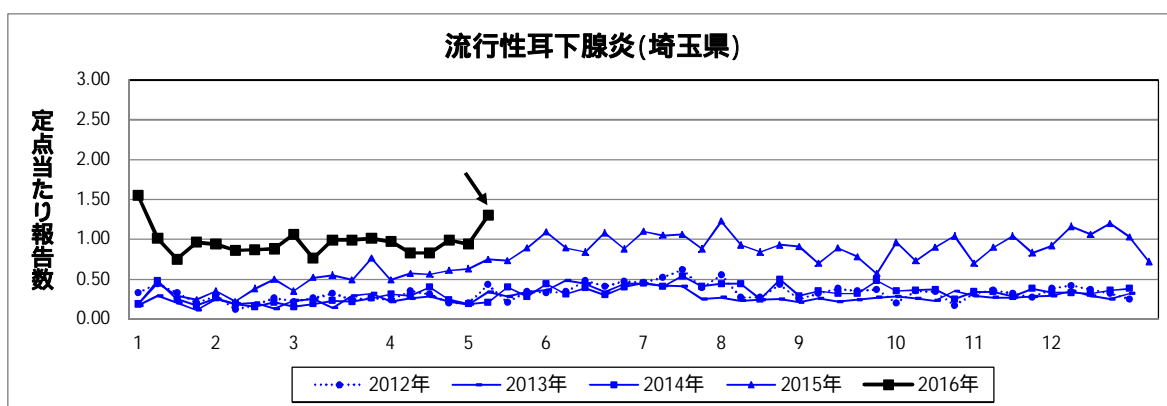


図 2 咽頭結膜熱

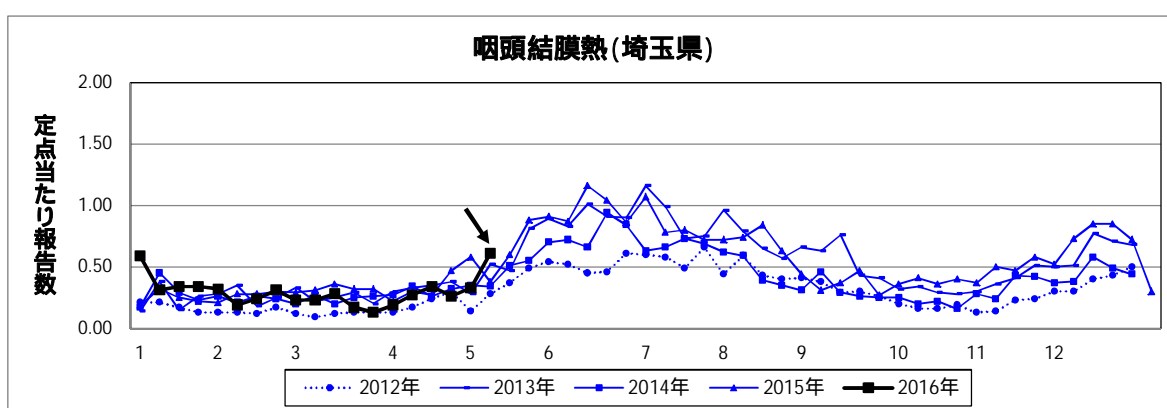
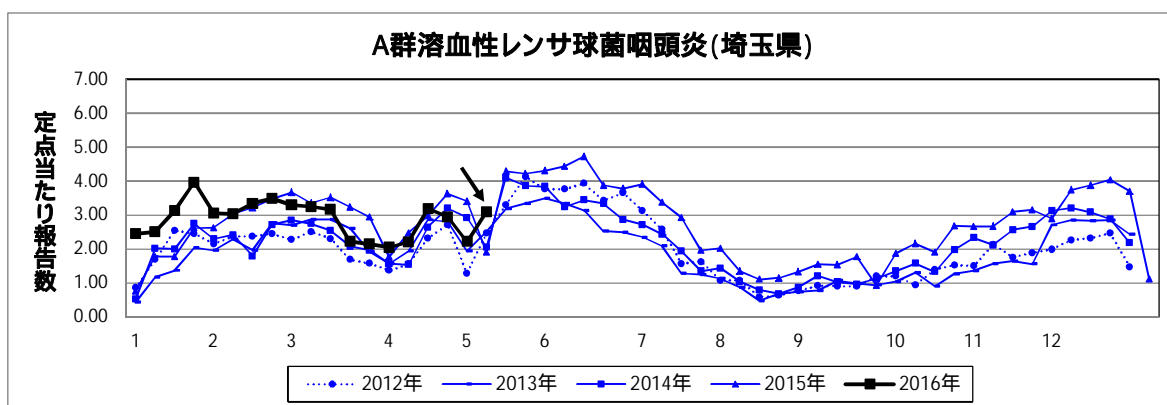


図 3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



インフルエンザウイルス検出状況

平成 28 年 4 月 1 日から改まった検体採取基準*によって採取された検体（流行期における指定提出機関の採取数は各週 1 検体）からのウイルスの検出は、4 月 1 日～30 日までの採取分で、AH1pdm09 が 16 件、A 香港が 3 件、B 型が 59 件の計 78 件**となった。

* : http://www.pref.saitama.lg.jp/a0705/kansen/kansensyohassei_todoke.html を参照ください。なお、今後は非流行期における検体採取基準（各月 1 検体）が適用されます。

** : 詳細な解析結果は後日報告いたします。

感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第19週)

(2016年5月17日 15:00集計)

	今週 届出	累 計		今週 届出	累 計
一類感染症					
エボラ出血熱			ペスト		
クリミア・コンゴ出血熱			マールブルグ病		
痘そう			ラッサ熱		
南米出血熱					
二類感染症					
急性灰白髄炎			中東呼吸器症候群(MERS)		
結核*	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)		
ジフテリア			鳥インフルエンザ(H7N9)		
重症急性呼吸器症候群(SARS)					
三類感染症					
コレラ			腸チフス		1
細菌性赤痢		2	パラチフス		
腸管出血性大腸菌感染症	1	9			
四類感染症					
E型肝炎	1	9	東部ウマ脳炎		
ウエストナイル熱			鳥インフルエンザ(H5N1を除く)		
A型肝炎		2	ニパウイルス感染症		
エキノコックス症			日本紅斑熱		
黄熱			日本脳炎		
オウム病			ハンタウイルス肺症候群		
オムスク出血熱			Bウイルス病		
回帰熱			鼻疽		
キャサナル森林病			ブルセラ症		
Q熱			ベネズエラウマ脳炎		
狂犬病			ヘンドラウイルス感染症		
コクシジオイデス症			発しんチフス		
サル痘			ポツリヌス症		
ジカウイルス感染症			マラリア		
重症熱性血小板減少症候群			野兔病		
腎症候性出血熱			ライム病		
西部ウマ脳炎			リッサウイルス感染症		
ダニ媒介脳炎			リフトバレー熱		
炭疽			類鼻疽		
チクングニア熱			レジオネラ症	1	20
つつが虫病			レプトスピラ症		
デング熱		6	ロッキー山紅斑熱		
五類感染症					
アメーバ赤痢	2	22	侵襲性肺炎球菌感染症	4	45
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)		3	水痘*		2
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		13	先天性風しん症候群		
急性脳炎	1	22	梅毒	1	43
クリプトスポリジウム症			播種性クリプトコックス症		3
クロイツフェルト・ヤコブ病		4	破傷風		1
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		8	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症		
後天性免疫不全症候群	1	14	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		3
ジアルジア症			風しん		
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	麻しん		1
侵襲性髄膜炎菌感染症			薬剤耐性アシネトバクター感染症		2
指定感染症	該当疾患は無し				

水痘*：患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	2	1		

累計は診断日で集計

* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核届出状況(4月分)

4月の届出数は、患者81人、疑似症患者2人、無症状病原体保有者15人の計98人で、前月の103人より減少したが、前年同月の96人より多かった。

表1 診断月別の届出数の推移(2015年4月～2016年4月)

	2015年*										2016年				累計**
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
総計	96	99	134	116	124	99	111	80	116	128	115	103	98	444	
年齢階級															
10歳未満	5	1	2	6	0	1	3	1	7	2	2	1	1	6	
10歳代	2	3	4	1	10	0	1	0	1	1	5	0	1	7	
20歳代	5	11	15	9	6	10	13	4	8	4	12	8	16	40	
30歳代	11	5	14	11	9	9	11	5	16	7	8	9	7	31	
40歳代	18	9	19	11	15	11	8	11	6	13	22	15	7	57	
50歳代	5	6	8	10	23	11	9	13	13	14	8	5	10	37	
60歳代	17	21	13	17	13	21	16	13	16	25	16	15	10	66	
70歳代	11	20	26	26	17	23	18	15	27	32	16	25	23	96	
80歳以上	22	23	33	25	31	13	32	18	22	30	26	25	23	104	
性															
男	52	60	84	68	68	64	73	43	61	71	71	65	58	265	
女	44	39	50	48	56	35	38	37	55	57	44	38	40	179	
類型															
患者	63	76	98	81	85	57	85	63	83	69	77	73	81	300	
感染症死亡者の死体	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
疑似症患者	2	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	4	
無症状病原体保有者	31	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	30	15	139	
病型															
肺結核	41	55	74	65	66	44	63	48	55	42	58	51	62	213	
肺結核及びその他の結核	9	5	3	2	3	3	7	4	5	6	7	7	5	25	
その他の結核	13	16	21	14	16	11	15	11	23	22	12	15	14	63	
疑似症患者	2	3	2	1	0	2	0	0	0	2	0	0	2	4	
無症状病原体保有者	31	20	34	34	39	39	26	17	33	56	38	30	15	139	

*:2015年の届出数は暫定値

** :2016年1月からの累積届出数

4月に診断された98人を病型別にみると、肺結核では10歳未満を除く年齢階級から届出があり、70歳代の16人が最も多く、無症状病原体保有者では10歳代及び40歳代を除く年齢階級から届出があった。

表2 年齢階級別病型別の届出数(2016年4月分)

	病 型					総計
	肺結核	肺結核及びその他の結核	その他の結核	疑似症患者	無症状病原体保有者	
総計	62	5	14	2	15	98
年齢階級						
10歳未満	0	0	0	0	1	1
10歳代	1	0	0	0	0	1
20歳代	9	1	1	0	5	16
30歳代	3	0	1	1	2	7
40歳代	7	0	0	0	0	7
50歳代	7	1	0	0	2	10
60歳代	8	0	1	0	1	10
70歳代	16	0	4	0	3	23
80歳以上	11	3	7	1	1	23

感染症発生動向調査週情報		報告患者数										保健所別		平成28年5月9日～平成28年5月15日																										
保健所	感染症	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		咽頭炎		咽A群溶血性レンサ球菌		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎 #2		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎 #3		クラミジア肺炎 #3		感染性胃腸炎(口ウイルス)		インフルエンザ(入院)						
		報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり	報告数	定点当たり					
全	報告数	66	0.26	9	0.06	97	0.61	492	3.09	618	6.18	112	0.70	8	0.05	31	0.19	117	0.74	4	0.03	5	0.03	206	1.30	2	0.05	37	0.90	-	-	3	0.30	-	-	5	0.50	1	0.10	
川	報告数	2	0.08	2	0.13	8	0.53	48	3.20	98	6.53	12	0.80	-	-	4	0.27	14	0.93	-	-	7	0.47	1	0.20	1	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
朝	報告数	6	0.27	1	0.07	15	0.53	46	3.29	135	9.64	17	1.21	-	-	3	0.21	13	0.93	-	-	1	0.07	5	0.36	1	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鴻	報告数	6	0.32	-	-	8	0.67	38	3.17	76	6.33	11	0.92	-	-	2	0.17	15	1.25	-	-	6	0.50	-	10	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東	報告数	2	0.25	-	-	-	-	12	2.40	30	6.00	3	0.60	-	-	1	0.20	3	0.60	1	0.20	4	0.80	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秩	報告数	-	-	-	-	-	-	5	1.67	6	2.00	1	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
本	報告数	-	-	-	-	-	-	13	3.25	3	0.75	3	0.25	1	0.25	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
庄	報告数	-	-	-	-	-	-	34	2.40	92	6.53	3	0.25	1	0.25	1	0.25	3	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊	報告数	-	-	-	-	2	0.22	378	2.78	1022	7.33	33	0.33	-	-	0.11	0.33	-	-	-	-	0.78	-	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	報告数	1	0.10	-	-	2	0.33	5	0.83	3	0.50	3	0.17	-	-	-	-	5	0.83	-	-	4	0.67	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
春	報告数	-	-	-	-	4	0.15	15	0.26	26	0.50	13	0.17	-	-	2	0.11	2	0.11	1	0.09	4	0.67	-	4	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
日	報告数	-	-	-	-	0.80	0.30	3.00	2.00	5.20	2.60	0.20	0.20	-	-	0.40	0.20	-	-	0.40	0.20	0.80	-	0.80	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
部	報告数	3	0.21	1	0.11	11	0.22	25	1.80	21	0.78	7	0.50	-	-	-	-	4	0.44	-	-	51	1.00	-	51	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
幸	報告数	4	0.40	-	-	2	0.33	18	1.22	45	3.33	6	0.40	1	0.17	7	0.50	4	0.44	-	-	16	0.67	-	16	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手	報告数	11	0.65	1	0.09	6	0.55	21	1.50	68	5.00	6	0.40	1	0.17	6	0.40	8	0.55	2	0.09	20	1.50	-	20	1.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
戸	報告数	6	0.23	-	-	21	0.50	93	2.94	54	4.00	5	0.33	-	-	5	0.33	10	0.75	-	-	28	2.00	-	28	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
加	報告数	2	0.15	2	0.25	1	0.13	54	1.80	67	5.00	1	0.07	-	-	3	0.25	3	0.38	-	-	1	0.07	-	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山	報告数	11	0.85	1	0.13	10	0.39	39	1.25	13	0.92	1	0.07	-	-	2	0.15	7	0.50	-	-	9	0.67	-	9	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
越	報告数	12	0.29	1	0.04	7	0.26	69	2.26	206	15.46	20	1.50	3	0.25	2	0.15	23	1.77	-	-	44	3.33	-	44	3.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
谷	報告数	0.29	0.04	0.26	0.10	2.56	1.80	7.63	2.26	15.46	115.38	1.50	1.13	0.11	0.07	0.85	0.63	1.63	1.22	-	-	1.63	1.22	-	1.63	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
さい	報告数	0.29	0.04	0.26	0.10	2.56	1.80	7.63	2.26	15.46	115.38	1.50	1.13	0.11	0.07	0.85	0.63	1.63	1.22	-	-	1.63	1.22	-	1.63	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
たま	報告数	0.29	0.04	0.26	0.10	2.56	1.80	7.63	2.26	15.46	115.38	1.50	1.13	0.11	0.07	0.85	0.63	1.63	1.22	-	-	1.63	1.22	-	1.63	1.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 5月 17日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第19週 平成28年5月9日～平成28年5月15日)

	合計																					
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上		
インフルエンザ #1	66	1	2	3	1	6	-	4	2	4	4	2	6	6	3	4	7	5	4	2	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	-	
RSウイルス感染症	9	3	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱	97	-	12	34	10	12	16	4	3	1	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	492	1	-	9	16	43	46	88	80	58	51	30	54	2	14	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎	982	8	62	120	86	111	88	82	55	60	46	37	113	16	98	-	-	-	-	-	-	
水痘	112	-	-	4	6	7	11	17	22	22	11	10	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
手足口病	8	-	3	-	2	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑	31	-	2	2	4	1	5	5	4	2	3	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん	117	1	41	55	17	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ	5	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎	206	-	-	3	8	18	23	27	39	34	12	17	22	-	3	-	-	-	-	-	-	
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	-	
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎	37	-	-	1	2	1	2	1	1	-	-	3	1	3	7	7	3	3	3	2	-	
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	3	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎 #3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	5	-	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(入院)インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	

表中の数値は各定点からの報告数 (- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第 16週

(4月18日～4月24日)

平成28年5月18日

インフルエンザの定点当たり報告数は第7週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は秋田県(15.28)、岩手県(13.75)、新潟県(12.97)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は177例と前週と比較して減少した。都道府県別では38都道府県から報告があり、年齢別では0歳(12例)、1～9歳(70例)、10代(7例)、20代(1例)、30代(4例)、40代(10例)、50代(8例)、60代(9例)、70代(16例)、80歳以上(40例)であった。

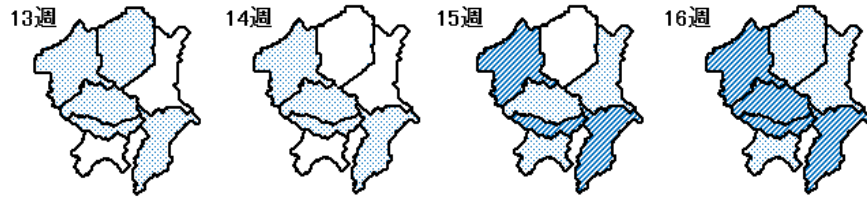
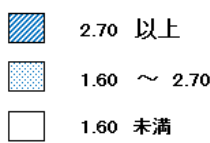
RSウイルス感染症の報告数は586例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約81%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は島根県(1.39)、鹿児島県(0.95)、福井県(0.91)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は山形県(6.20)、鳥取県(5.47)、北海道(5.39)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は新潟県(11.93)、宮崎県(11.81)、島根県(11.43)である。水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福井県(0.82)、滋賀県(0.81)、山梨県(0.67)である。手足口病の定点当たり報告数は3週連続で増加した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.65)、島根県(0.22)、茨城県(0.21)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は第13週以降増加が続いている。都道府県別の上位3位は山形県(1.33)、三重県(1.22)、秋田県(1.20)である。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は宮崎県(2.58)、佐賀県(2.52)、山形県(1.60)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は岐阜県(1.40)、鳥取県(1.40)、青森県(1.17)、静岡県(1.00)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。43都道府県から299例報告があり、年齢別では0歳(30例)、1～4歳(196例)、5～9歳(56例)、10代(11例)、20代(1例)、30代(2例)、60代(1例)、70歳以上(2例)であった。

<関東情報>

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、千葉県(3.33)、埼玉県(3.19)、東京都(2.93)、群馬県(2.79)からの報告が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



平成28年 16週

		全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数	20,891	4,503	353	240	349	787	702	1,186	886
	定点当たり	4.22	2.98	2.94	3.16	3.67	3.12	3.27	2.87	2.61
RSウイルス感染症	報告数	586	72	3	1	-	6	8	37	17
	定点当たり	0.19	0.08	0.04	0.02	-	0.04	0.06	0.14	0.08
咽頭結膜熱	報告数	1,099	273	22	2	17	54	38	86	54
	定点当たり	0.35	0.29	0.29	0.04	0.29	0.34	0.28	0.33	0.25
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	8,303	2,615	144	94	162	510	450	763	492
	定点当たり	2.63	2.75	1.92	1.96	2.79	3.19	3.33	2.93	2.29
感染性胃腸炎	報告数	20,642	5,507	355	135	355	998	747	1,782	1,135
	定点当たり	6.54	5.79	4.73	2.81	6.12	6.24	5.53	6.85	5.28
水痘	報告数	1,107	402	49	12	23	69	51	99	99
	定点当たり	0.35	0.42	0.65	0.25	0.40	0.43	0.38	0.38	0.46
手足口病	報告数	156	60	16	1	2	7	3	22	9
	定点当たり	0.05	0.06	0.21	0.02	0.03	0.04	0.02	0.08	0.04
伝染性紅斑	報告数	1,195	277	15	32	33	51	54	66	26
	定点当たり	0.38	0.29	0.20	0.67	0.57	0.32	0.40	0.25	0.12
突発性発しん	報告数	1,767	581	33	27	42	112	76	158	133
	定点当たり	0.56	0.61	0.44	0.56	0.72	0.70	0.56	0.61	0.62
百日咳	報告数	56	16	-	-	1	1	2	7	5
	定点当たり	0.02	0.02	-	-	0.02	0.01	0.01	0.03	0.02
ヘルパンギーナ	報告数	126	18	3	-	1	2	2	4	6
	定点当たり	0.04	0.02	0.04	-	0.02	0.01	0.01	0.02	0.03
流行性耳下腺炎	報告数	2,330	623	66	23	30	132	129	112	131
	定点当たり	0.74	0.66	0.88	0.48	0.52	0.83	0.96	0.43	0.61
急性出血性結膜炎	報告数	5	2	-	1	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.01	0.01	-	0.08	-	-	-	-	0.02
流行性角結膜炎	報告数	440	183	14	9	21	15	14	23	87
	定点当たり	0.64	0.90	0.82	0.75	1.50	0.37	0.41	0.59	1.85
細菌性髄膜炎 #2	報告数	9	1	-	-	-	-	-	-	1
	定点当たり	0.02	0.01	-	-	-	-	-	-	0.11
無菌性髄膜炎	報告数	41	11	-	-	-	1	4	4	2
	定点当たり	0.09	0.14	-	-	-	0.10	0.44	0.16	0.22
マイコプラズマ肺炎	報告数	168	18	1	2	5	3	-	3	4
	定点当たり	0.36	0.22	0.08	0.29	0.63	0.30	-	0.12	0.44
クラミジア肺炎 #3	報告数	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	定点当たり	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数	299	26	6	2	7	1	2	7	1
	定点当たり	0.63	0.32	0.46	0.29	0.88	0.10	0.22	0.28	0.11

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-0.00)

感染症発生動向調査 2016年

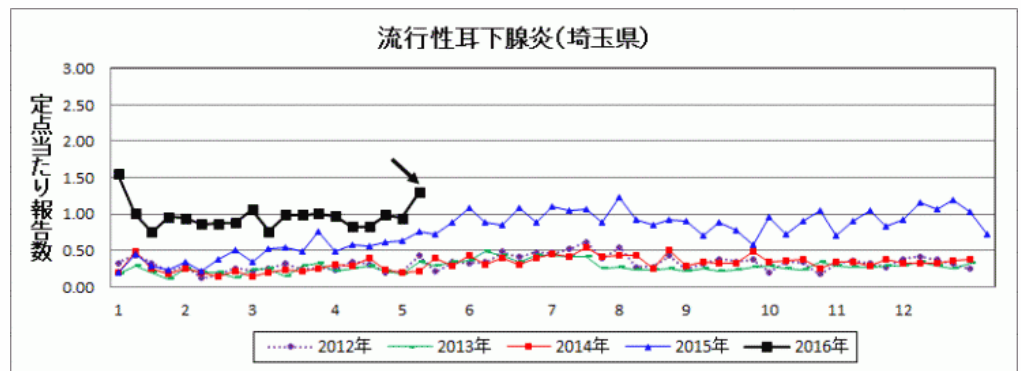
- [感染症の流行状況 2016年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第10週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第11週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第12週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第13週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第14週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第15週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第16週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第17週](#)
- [感染症の流行状況 2016年 第18週](#)

感染症の流行状況 2016年 第19週

2016年第19週（平成28年5月9日～5月15日）の要点 平成28年5月18日

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の定点当たり報告数は、前週より大きく増加しました。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ	→	★	伝染性紅斑	→	★
RSウイルス感染症	→	★	突発性発疹	→	★
咽頭結膜熱	↑	★★	百日咳	→	★
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	★★	ヘルパンギーナ	→	★
感染性胃腸炎	→	★★	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	↑	★★
水痘（みずぼうそう）	↑	★	急性出血性結膜炎	→	★
手足口病	→	★	流行性角結膜炎	↑	★★

*1.推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2.推移は2週間前からの傾向を示します。(→:増減無し、↑:増加、↓:減少) *3.流行状況は今週の流行を示します。(小さい←★、★★、★★★→大きい)

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン